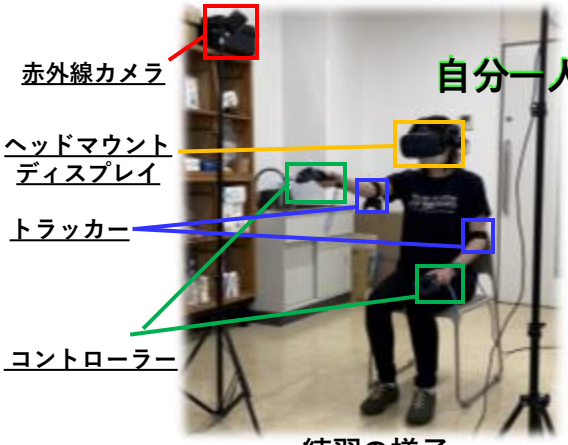
スタッフ不足を解消する質の高いリハビリテーションシステムの開発

東京家政大学健康科学部　准教授　磯　直樹

概要:リハビリテーションが効果的に行われているか否かを練習者がリアルタイムで認識できるリアルタイムシステム

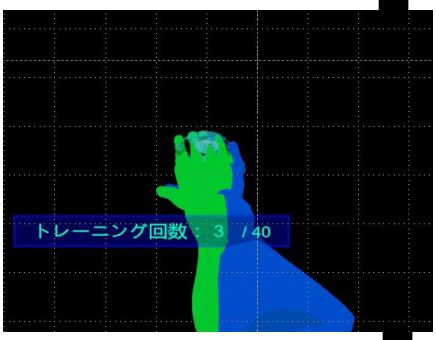
従来技術と問題点：けがや加齢等により運動能力が低下した人のため、仮想画像上に教示画像を提示し、当該画像と重なるよう練習するシステムなどがあったが、動作そのものを計測するものではなく、効果的な練習ができているか練習者自身が認識することができなかった。

本研究成果の優位性：模範動作を仮想現実画像上に提示するとともに、練習者の動作とのずれを模範動作の濃淡で表すことにより、練習者自身で効果的な練習ができているかどうか認識できる。

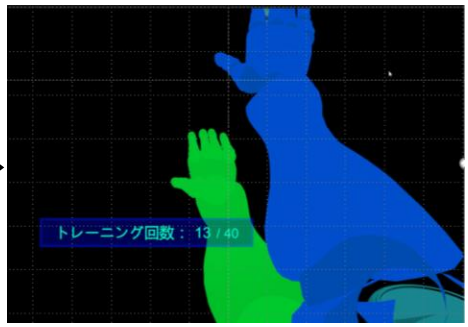


練習の様子

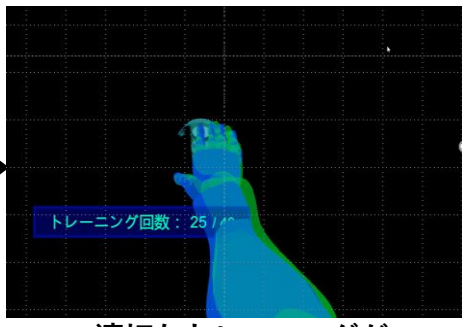
介助がなくても
自分一人でトレーニングができる



VR内の映像



適切なトレーニングが
できていない場合（誤った運動を行っている）



適切なトレーニングが
できている場合（正しい運動を行っている）

知財情報：特許第7602243号「練習支援装置、練習支援方法及びプログラム」
出願人：渡辺学園（東京家政大学）

東京家政大学

問い合わせ先
ヒューマンライフ支援機構
E-mail：orcc@tokyo-kasei.ac.jp